カトリック幟町教会報

平和の鐘

2020年
4月
No.502

重要な お知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月6日～30日のすべてのミサが非公開となります。

一般の信徒の皆さんは参列できませんが、ミサの時間はそれぞれの場所で、心を合わせてお祈りください。

インターネットを利用できる方は、次の動画配信をご覧ください。

- カトリック東京大司教区ホームページ（聖週間・主日のミサ）
- カトリック広島司教区ホームページ（聖週間のミサ）

その後の情報は、ホームページや一斉メール、個人ボックス等でお知らせします。

待っていました！復活祭

援助修道会　橋本晶子

毎朝ミサが終わって帰る道に小学校があります。冬であればまだ暗いうちから開門するのを待つ子どもたちがいて、「おはようございます！」と元気に挨拶をしてくれます。そして彼らと交わす挨拶が、私のささやかな楽しみにもなっています。

しかし新型コロナウィルスの影響で元気のよい声も聞こえなくなり、冷たい鉄の門が閉ざされた朝が続いています。そして世界各地の教会もまた、公のミサ中止や行事の延期を余儀なくされました。

このような先の見えない状況の中で、心まで閉じたような感覚になったのは私だけでしょうか。せっかく教皇さまが日本に来てくださり勇気をいただいたのに、心がしぼんでしまったのでしょうか。学校の子どもたちの声が聞こえなくなったように、イエスの声まできこえなくなってしまったのでしょうか。それとも私の信仰はその程度だったのでしょうか。

いえいえ、そんなことはありませんよね。もしかしたら、いつもはあたり前のようにふれていた福音が、後ろ側から響いていたのかもしれません。復活の朝、イエスに出会ったマリアのように。（ヨハネ 20：11－18）

復活されたイエスは前からではなく、後ろから「マリア」と声をかけられました。マリアは振り返りますがイエスだとはわかりません。そして再度「マリア」と呼びかけられイエスだと気づきます。そしてマリアは振り返り「ラボニ！（先生）」と叫ぶのですが、私はこれをマリアの信仰宣言だと思っています。そしていつもはあたりまえのように一緒にいたイエスが見えなくなる時に、その姿を探し求めるマリアの姿に励まされるのです。

「前向きに！」とよく言います。確かにそうですが「後ろ向き」になることで回心の恵みにふれることもあります。私たちの四旬節の40日はそのような時だったのではないでしょうか。でも、もう前を向いてもよいですよね！

「イエスが行く手に立っていて『おはよう』と言われた。」（マタイ 28：9）

新しい家族に

今年も主の復活にあずかり 16 人が洗礼の秘跡を受けます。
どうぞよろしくお願いします。

TOPIC

ヒマラヤスギの下にフランシスコ来日記念紅白梅をプレートと共に植樹しています。
教皇様の想いが、日に日に育ち、美しい花を開かせることを祈ります。

卒業 おめでとう

この春、新たなスタートに立つ子どもたちの声を紹介します

FB

僕の名前は、フランチェスコです。パパ様と同名です。僕はイタリアの呼び方なので、フランシスコではなくてフランチェスコと発音します。昨年 11 月に、平和記念公園で、生パパ様にお会いする事ができました。時間にすると約 1 時間でしたが、夢のような時間はほんの一瞬の様でした。

僕も無事に小学生になり、みんなと同じ様に教会学校に通うことになりました。始め、「教会学校」と聞いて、厳かに机に向かい勉強するのか？と思っていましたが、実際に始まってみると、体を動かしたりして学ぶ事の方が多く、毎週日曜の教会学校が待ち遠しくなるほどでした。特に僕が楽しみだったのが、「歌の時間」です。もともと歌を歌うのが大好きだったで、教会学校の最後の歌の時間は楽しかったです。習う歌は、どれも簡単なメロディで覚えやすく、気がつくといつのまにか口ずさんでいるくらいでした。たとえ、悲しかったり、辛い事があったりしても、習った賛美歌を歌うと笑顔になりました。神様と一緒にいる気分で元気になれました。

もう一つ心に残っているのは、年に数回ある「教会合宿」です。侍者合宿では、主に侍者の練習をします。頑張って練習した侍者が翌日のミサで活かされると嬉しくて誇らしく感じました。

夏休みには「サマーキャンプ」もあり、公園で遊んだり、プールに行ったり、BBQ や花火大会流しそうめん大会をしたりと楽しい企画が盛り沢山で、時間があっという間に過ぎていきました。

最後に、忘れられないのは初聖体です。中でも、初めていただく御聖体……どんな味？上手くいくかな？緊張？でも、実際に一番最初に感じたのは、喜びでした。とにかく嬉しかったのを覚えています。

4 月から中学生になりますが、中学生になっても神様の事をもっと勉強したいと思っています。どうぞいつまでも僕たちと見守っていてください。

AS

私はこの３月に高校を卒業します。私にとってこの３年間は最も教会に行った時期であります。学校行事の無い時には必ず侍者として日曜日の朝９時半のミサにあずかったり、ミサ後の教会学校に参加したりしました。ここで、私は正直よく３年間欠かさず教会へ通う事ができたなあと驚いています。私は小学校６年生の時に洗礼を受けました。しかし当時は中学校受験に励んでいたし、そうでなくとも、全く教会へ行く気はありませんでした。中学校の時は親に連れられて来ましたが、やはり、行く気は無く、親が別の用事のある時などは教会へ来ませんでした。それにも関わらず、この３年間は親の用事の如何によらず、電車に乗って教会へ来ました。さて、果たしてなぜ私は突然教会へ行き始めたのでしょうか。はっきりとは分かりません。我思うに高校での学習が難しい時、聖書よりは難しくなかろうと思うだけで救われたからでしょう。その上、私が教会学校に参加するのはなぜかと考えると、それは教会の人々が優しく楽しい人々である為に共に活動する事で楽しませてもらったでしょう。私は４月から遠方の大学へ行きますが、この教会で過ごした日々を忘れず、新天地でも教会へ通い人々と交わる事を続けたいと思います。最後にこの教会に貢献する全ての人に感謝し健康を祈願して卒業の文章とします。

MS

私の高校生活を振り返ってみると、沢山の出会いがありました。幼い頃から教会には通っていたけど、高校に入ってからは前よりも積極的に教会の活動に参加するようになり、多くの人たちに出会うことができました。特に中ブロでの出会いや経験は私にとっての宝物です。これからも中ブロで出会った仲間たちと多くの経験ができたらいいなと思います。

また、今まで育ててくれた父や祖父　周りで支えてくださった信徒の皆さんに感謝したいと思います。そしてこれから少しずつでも恩返しができたらいいなと思います。

高校を卒業してこれから始まる大学生活に期待をしつつ、夢である幼稚園教諭を目指して歩んでいこうと思います。

これから先も信徒の皆さんにはお世話になると思うので、温かい目で見守ってくださると嬉しいです。これからもよろしくお願いします。

編集後記

世間を騒がせている新型ウイルス。情報が錯綜し、何が正しい情報なのか見極める事が大変難しい中、自分には何ができるだろう。そう考えながら日々を過ごす。四旬節にふさわしい行いができますように（さ）

カトリック幟町教会

〒730-0016　広島市中区幟町４番 42 号
電話　082-221-0621
ファクス　082-221-8486
ホームページ　http://noboricho.catholic.hiroshima.jp

ミサの時間

日曜日　7:30、9:30、14:30～（英語）
第１日曜日　15:00（ポルトガル語）
第４日曜日　11:00（ベトナム語）
月の最後の日曜日　17:00（スペイン語）
平日　7:00　　金曜日　7:00、10:00
土曜日 7:00、18:00（主日）

主任司祭　荻 喜代治 神父
助任司祭　久保 祐己 神父

シスター　小野島照子（援助修道会）